



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.1.7 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

## 岡村小・教育活動未来図Ⅱ～新しい枠組みづくりも検討します。～

校長 さいとう 齋藤 ともあつ 有厚

明けましておめでとうございます。旧年中は、保護者や地域の皆様に大変お世話になりました。本年も、本校教育活動へのご理解・ご支援をお願いします。冬休みに入る前、欠席児童が50名(全校の約15%)に上り、インフルエンザによる欠席者も一気に増えました。学校では、授業再開に伴い、引き続き、手洗いやうがいの励行、エチケットマスク(咳がでるとき)の着用等、指導して参ります。ご家庭でも、予防行動、早めの通院等、ご配慮をお願いします。

ところで、1月1日の新聞に「新春特別教育鼎談」と題して、有名私立中高一貫校の2名の校長と有名進学塾代表が「教育の未来」について語り合う記事が載っていました。例年であれば、文科省や大学の関係者が「教育のあり方」等を発信するのが常であったかと思えます。その意味で、異例の企画です。今春、小学校から新学習指導要領に基づく新教育課程が始まります。「AIの急速な進歩等から、これから迎える10年後、20年後は、予測困難な時代」であり、その時代を支え、発展させていく責務を担った子どもたちを育てていくことは、教育関係者のみならず、全国民(“ONE TEAM”となって)の使命であると言われています。従前、公立学校ー私立学校、学校ー塾、義務教育学校ー高校・大学、大学ー企業、学校ー家庭等は対局の関係でとらえがちでした。しかし、これからは、それでは教育が成り立たない時代が来ました。例えば、子どもたちをよりよく育むために、「公立学校と私立学校はどう連携できるか」など。そうした背景があり、今回は以上の3名による鼎談になったのだろうと解釈しました。「学校として貫く伝統を守りつつ、時代に合った新たな取組にもチャレンジ！」等学ぶことの多い内容でした。令和2年、教育新時代を迎えたことを再確認しました。

さて、本校では、昨年度の学校だより1月号で「心も体も元気な岡村っ子を育むための“岡村小・教育活動未来図”の創造」として、新教育課程編成を推進する旨をお伝えしました。ほぼ順調に準備は進んでいます。特に、学習に苦手意識をもつ子どもに焦点を当て、全ての子どもが学び合いを深める授業設計について体育科学習を切り口に研究を深めることができたことは、大きな成果です。さらに、この発想を他の学習へ広げているところです。今回、もう一つ課題が見えてきました。それは、本校の教育活動をより充実させるために、この機会に“岡小 ONE TEAM”の枠組みづくりを検討することです。現在、教育活動サポート、読み聞かせボランティア、地域交流クラブ、教育懇話会等の事業があります。それらの活動の拡充を目指し、新たな枠組みづくりを模索します。『岡村小・教育活動未来図Ⅱ』です。保護者や地域の皆様と、岡村っ子の“きらきら”をいっぱい創っていきたいと思います。